

ウェブブラウザユーザーのお気に入りやパスワードを共有する

複数のパソコンで お気に入り共有

頻繁にアクセスするウェブサイトに は、ウェブブラウザに搭載されている「お気に入り」や「ブックマーク」と呼ばれる機能を使ってアクセスするのが一般的です。

複数のパソコンを利用し始めると、当然これらのお気に入りやブックマークも共有したくなるでしょう。自宅のデスクトップパソコンと外出先に持ち出すノートパソコンで、それぞれ個別にお気に入り登録して利用するのは、あまりにも効率が悪いからです。また、重要な資料をブックマークしたと安心していたら、じつは自宅のデスクトップパソコンにしか登録されておらず、外出先でイチから資料を探す羽目になり、時間を浪費するといった失敗も防げます。

こうしたニーズに対応するため、インターネット上には、お気に入りや

ライブメッシュでIEのお気に入りを共有する

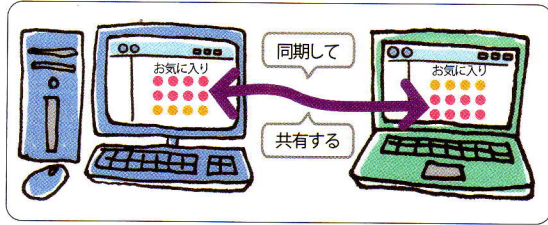


図1 ライブメッシュには、ウェブブラウザごとに記憶している「お気に入り」を統合する機能が備わっている。

45ページの[図4]と同様に [WindowsLive Mesh] を起動して サインインする

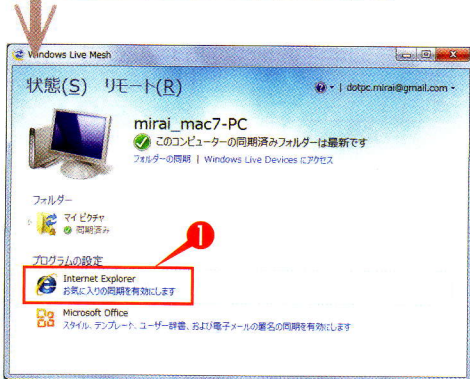


図2 ①「お気に入りの同期を有効にします」をクリックする。



図3 「同期は有効です」という表示に切り替わるのを確認して設定完了。

ブックマークを複数のパソコンで共有するための、いろいろなサービスが用意されています。そのなかで、どのパソコンでもインターネットエクスプローラー（以下、IE）を使っているユーザーにおすすめしたいのが、ライブメッシュの機能を利用する方法です。設定方法は簡単で、共有したい

すべてのパソコンで同期を有効にするだけです[図1~3]。

ライブメッシュの機能を使えば、インターネット上のサーバーに、IEが記憶しているお気に入りの情報がアップロードされます。そして、同期している別のパソコンからも同じことが行われ、すべてのパソコンのお気に入り

がサーバー上でマージ（統合）されます。その情報が各パソコンにダウンロードされることで、複数のパソコンでお気に入り内容が同一になるように同期が行われるのです。もちろん、不要になったお気に入りを削除すれば、他のパソコンのお気に入りからも削除されます。

IE以外のウェブブラウザでもお気に入り共有できる

「ファイアフォックス」はアドオンの追加で共有を実現

mozilla.jp/firefox/sync/

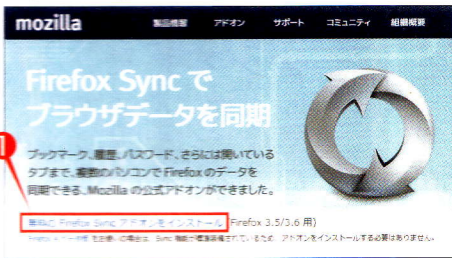


図3 「Firefox Sync」のウェブページを開き、①「無料のFirefox Syncアドオンをインストール」をクリックする。

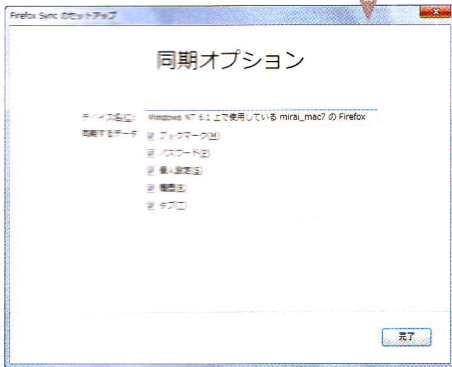


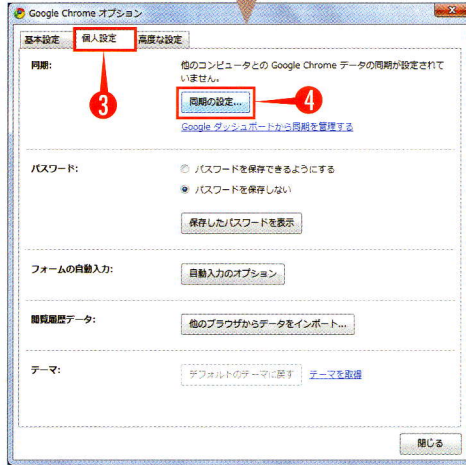
図4 ブックマークやパスワードなど、同期したい項目を選択すれば設定完了。

「グーグルクローム」は標準機能でお気に入り共有できる

図1 グーグルクロームを起動し、① [GoogleChromeの設定] ボタンをクリック。開いたメニューから② [オプション] を選択する。



図2 ③ [個人設定] タブを開き、④ [同期の設定] をクリックする。



スマートフォンとの共有に強い「オペラ」



図5 パソコン版のオペラを起動し、① [同期を有効にする] を選択する。



図6 画面はアンドロイド版のオペラ。パソコン版オペラで追加した、ドットPCのブックマークを同期できた。

IE以外のウェブブラウザでもお気に入りの共有が可能です。まずは軽快なウェブブラウザとして人気が高い、「グーグルクローム」での方法を見ていきましょう。

最新版のグーグルクロームには、ウェブブラウザそのものにお気に入りの同期機能が組み込まれているので、設定は簡単です【図1〜2】。同期を有効にすればログイン情報の入力も求めてくるので、Gメールのユーザー名とパスワードを入力します。

モジラの「ファイアフォックス」では、公式アドオンの「Firefox Sync」を使ってお気に入りの同期できます

【図3〜4】。アドオンを配布しているウェブサイトを開いてインストールし、セットアップ画面で「同期するデータ」として「ブックマーク」を選択すれば完了です。

iPhoneやアンドロイド端末などのスマートフォンとお気に入り同期したい場合は、オペラソフトウェアの「オペラ」と「オペラミニ」の組み合わせがおすすめです【図5〜6】。パソコンに比べて文字が入力しにくいスマートフォンでは、URLを入力したり検索したりするのに手間がかかるため、パソコンのお気に入りと同期するのは非常に便利です。

異なるウェブブラウザ間で お気に入り共有する

無料ソフト



エクスマークス
URL: www.xmarks.com

作者……ラストパス
対応OS…… **7 ビスタ XP**

ダウンロード方法 上記サイトを開いて [INSTALL NOW] をクリック。表示された画面で [Download Xmarks] をクリックしてインストーラーをダウンロードする。

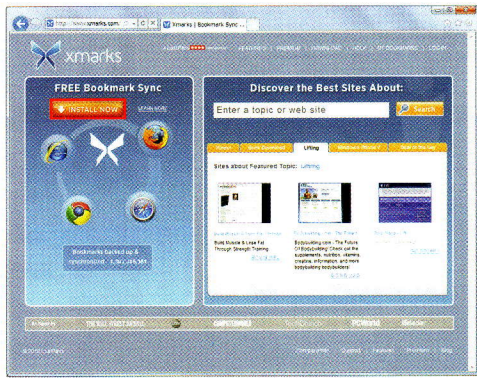


図7 ウェブブラウザでエクスマークスのウェブサイトを開く。[INSTALL NOW] をクリックしてインストーラーをダウンロードする。

図8 インストールの途中で、エクスマークスのアカウントを持っているか聞かれるので、① [No: ~] にチェックを入れる。② [Next] をクリックしてアカウントを作成する。

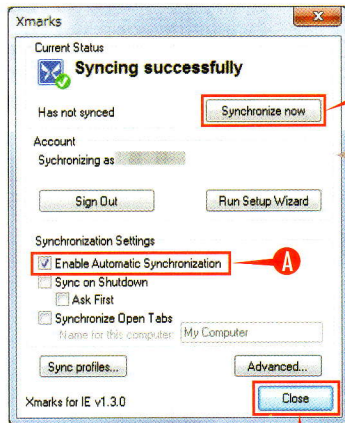
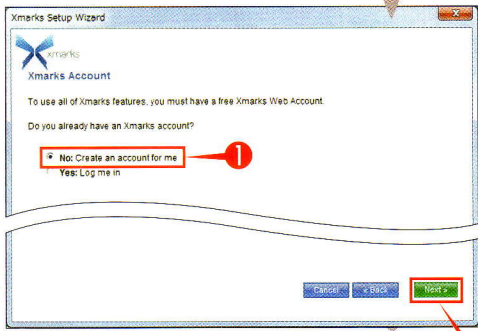


図9 エクスマークスを起動し、③ [Synchronize now] を押して同期したら④ [Close] をクリックして終了する。なお、A [Enable ~] にチェックを入れると、自動的に同期できる。

図10 マイエクスマークスの画面には、同期中のお気に入りが表示される。



異なるブラウザでも同期「エクスマークス」

このように、お気に入り同期できると便利ですが、ここまで紹介してきた方法は、同じウェブブラウザ同士で行うものです。ただ、自宅のデスクトップパソコンではIEを使っているが、外出先に持ち出すネットブックでは軽量のグーグルクロームを使っているなど、パソコンによってウェブブラウザを使い分けている読者も多いでしょう。他にも、ウェブブラウザによって表示が崩れたり、正常に動作しないウェブサービスがある場合など、ウェブブラウザを使い分けなければ

ならないケースは多々考えられます。

種類の異なるウェブブラウザを使う場合、便利なのが「エクスマークス」というウェブサービスです。これは、専用ソフトをパソコンにインストールすると、IEやグーグルクローム、ファイアフォックスなどの間で、お気に入りを同期してくれる。もちろん、お気に入りの管理はクラウドで行われています。

ウェブページ上で お気に入りが管理できる

ここでは、IEとグーグルクロームでお気に入りを同期してみます。まず

IEを使っているパソコンで、エクスマークスのウェブサイトから専用ソフトをダウンロードしてインストール

します【図7】。さらに設定画面で、エクスマークスのアカウントを作成してサインインしておきます【図8】。

続いてグーグルクロームを使っているパソコンで、エクスマークスの設定を行います【図9】。グーグルクロームには機能拡張として、エクスマークスのソフトが提供されています。グーグルクロームの機能拡張配布ページでエクスマークスを検索して「Xmarks Bookmark and pass word Sync」をダウンロードし

インストールします。するとアドレスバーの左にエクスマークスのアイコンが表示されるので、クリックして初期設定に進みます。ここで先ほど作成したエクスマークスのアカウントを入力します。それぞれのパソコンで設定をすませて同期すると、IEのお気に入りからグーグルクロームのお気に入りに表示されます。

意外と便利なのが、「マイエクスマークス」で、同期しているお気に入りをウェブブラウザで確認できるサービスです【図10】。これは、普段自分が使っていないパソコンで、お気に入りに登録したウェブサイトを見たい

クラウドサービスでパスワードを管理する

無料ソフト



ラストパス

URL lastpass.com

作者……ラストパス

対応OS……7 ビスタ XP

ダウンロード方法 上記サイトの「FREE Download LastPass」をクリック。表示された画面の「LastPassユニバーサルWindowsインストーラ」欄にある「ダウンロード●bit」(●は使用OSのビット数で選ぶ)をクリックしてインストーラーをダウンロードする。

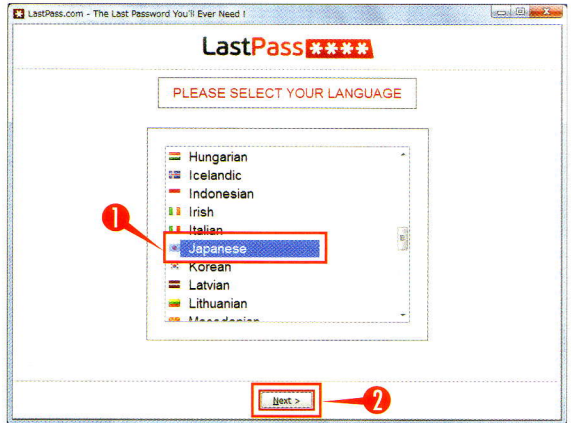


図11 ダウンロードしたファイルを起動。① [Japanese] を選択して② [Next] をクリック。

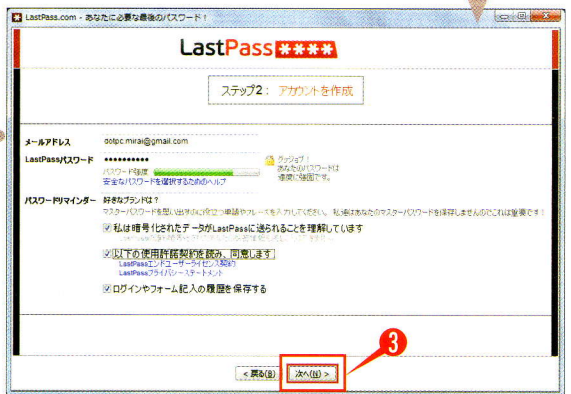


図12 インストールの途中でラストパスのアカウントを作る。メールアドレスやラストパス用のパスワードなどを入力して③ [次へ] をクリック。

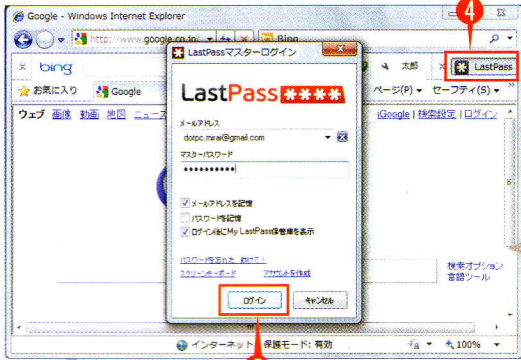


図13 ブラウザーのツールバーに表示される④ラストパスのアイコンをクリック。メールアドレスとパスワードを入力して⑤ [ログイン] をクリック。

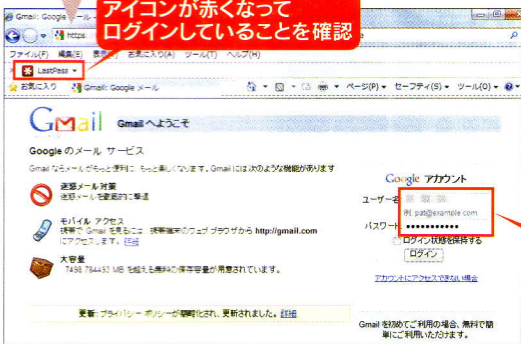


図14 ラストパスにログインしたことを確認して、ウェブサービスの⑥ユーザー名やパスワードを入力する。

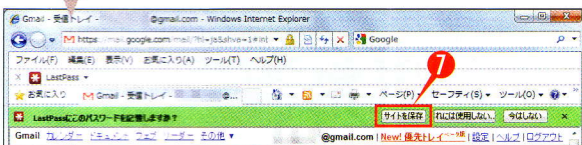


図15 画面上部に「LastPassにこのパスワードを記憶しますか?」というメッセージが現れるので、⑦ [サイトを保存] をクリック。

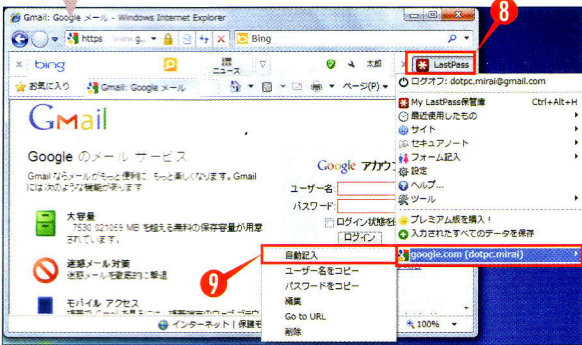


図16 パスワードを保存したウェブサイトへアクセスして⑧ [LastPass] → [記憶したサイトの名前] → ⑨ [自動記入] を選択すると、ユーザー名とパスワードを自動的に入力できる。

場合で役立ちます。パスワード管理の手間を軽減できる「ラストパス」

さて、ウェブブラウザには、入力したユーザーIDやパスワードを保存しておき、必要に応じて自動的に入力してくれる「オートコンプリート」と呼ばれる仕組みが実装されています。ただ複数のパソコンを使っている、パスワードが保存されているのは一方のパソコンだけで、別のパソコンのウェブブラウザには保存されていないといったことが起こります。こうした不便を解消するのが「ラストパス」です(図11～12)。

ラストパスは「パスワード管理ソフト」の一種で、IDやパスワードをインターネット上のサーバーを介して同期してくれます(図13～16)。つまり一方のパソコンでラストパスにパスワードを登録すれば、それを別のパソコンでも利用できるというわけです。

ラストパスは無償で利用できる他、IEやファイアフォックス、クロームに対応したアドオンが提供されているため、登録したパスワードを異なるウェブブラウザ間で簡単に共有できます。さらに登録されているパスワードは暗号化して保存されているため、セキュリティ面で安心できるのもポイントでしょう。

さて、ウェブブラウザには、入力したユーザーIDやパスワードを保存しておき、必要に応じて自動的に入力してくれる「オートコンプリート」と呼ばれる仕組みが実装されています。ただ複数のパソコンを使っている、パスワードが保存されているのは一方のパソコンだけで、別のパソコンのウェブブラウザには保存されていないといったことが起こります。こうした不便を解消するのが「ラストパス」です(図11～12)。

ラストパスは無償で利用できる他、IEやファイアフォックス、クロームに対応したアドオンが提供されているため、登録したパスワードを異なるウェブブラウザ間で簡単に共有できます。さらに登録されているパスワードは暗号化して保存されているため、セキュリティ面で安心できるのもポイントでしょう。